

大塚耕平 プロフィール

1959年名古屋市生まれ。愛知県立旭丘高校卒、早稲田大学政経学部卒、1983年日本銀行入行。日銀在職中に、早稲田大学大学院社会科学研究所博士課程修了（早大博士、専門はマクロ経済学）。

2001年まで日本銀行勤務。旧営業局（現在の金融市場局、金融機構局、決済機構局）、システム情報局、政策委員会室に所属し、金融政策の企画立案・市場調節・金融機関指導・経済分析・産業調査等に携わる。

2001年から参議院議員（現在3期目）。内閣府副大臣（担当は金融・郵政改革・経済財政・地域活性化・規制改革・拉致問題等）、厚生労働副大臣、拉致問題特別委員会委員長等を務める。現在は、財政金融委員会理事等。

民主党では政調会長代理、広報委員長、愛知県連代表等を務める。民進党では、政調会長代理、広報局長、財務金融担当ネクスト大臣、愛知県連代表等を務める。

日本財政学会、地方財政学会、公共政策学会、公共選択学会に所属し、現在、早稲田大学総合研究機構客員教授（2006年～）、藤田保健衛生大学医学部客員教授（2016年～）を兼務。元中央大学大学院公共政策研究科客員教授（2005～2017年）。

著書に「公共政策としてのマクロ経済政策」（成文堂）、「3.11 大震災と厚労省」（丸善出版）、「ジャパン・ライジング」（丸善プラネット）など。

趣味の仏教研究では、著書に「弘法大師の生涯と覚王山」（大法輪閣）、「仏教通史」（同）、「四国霊場と般若心経」（同）。中日文化センター等で仏教講座の講師を務めている。

学生時代は一貫してバレーボール部に所属。現在、愛知県バレーボール協会副会長。サラリーマン時代はスキューバダイビングの指導員（インストラクター）を務めていた（現在もインストラクター資格継続中）。

家族は妻（中高同級生）と一男一女。